

単元名 Unit 5 A Legacy for Peace

配当時間 11時間

- 単元の目標 (1) 接触節, 関係代名詞(who, that, which)の形・意味・用法を理解することができる。そしてその理解を基に, 相手の伝えたいことを理解したり, 自分の伝えたいことを表現したりする技能を身に付けることができる。
- (2) どのような人やものかを伝えるために, 言葉に情報を加えて伝えたり, 相手からの質問に答えたりすることができる。また, 教科書本文の概要を捉えたり, 簡単な語句や文を用いて話したりすることができる。
- (3) 接触節, 関係代名詞(who, that, which)の用法を用いて, 自分の考えを書いたり, 話したり, 伝えたりしようとする。また, ガンディーについて書かれた文章の概要を捉えたり, 簡単な語句や文を用いて伝えたりしようとする。

標準的な展開例

12250203_001

【準備等】 デジタル教科書, 電子黒板, タブレット

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 Scene1 接触節について学習する。</p> <p>★好きなものを詳しい情報を加えて伝えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○Unit5の表紙の絵について質疑応答をする。 ○Previewを聞き, 分かったことをペアで伝え合う。 ○コラムを読む。 ○接触節の形・意味・用法を知る。 ○基本表現の学習をする。 ○Practiceに取り組む。 ○本文の学習をする。 ○オーラルイントロダクションを行う。 ○新出語句を確認する。 ○音読練習をする。 <p>2 Scene2 関係代名詞(who)について学習する。</p> <p>★詳しい情報を加えて友達や先生について説明をしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○関係代名詞(who)の形・意味・用法を知る。 ○基本表現の学習をする。 ○Practiceに取り組む。 ○友達や先生を紹介する活動に取り組む。 ○関係代名詞を使って, 文を書く。 ○発表する。 ○本文の学習をする。 ○オーラルイントロダクションを行う。 ○新出語句を確認する。 ○音読練習をする。 <p>3 Mini Activity Scene1とScene2で学習した文法を使った活動に取り組む。</p> <p>★クイズを作って答え合おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○Mini Activityに取り組む。 ○Listenに取り組む。 ○Speak & Writeに取り組む。 ○クイズに取り組む。 ○クイズを作成する。 ○ペアで出題し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後学習する内容について関心をもたせる。 ・ペアで伝え合うことで話の内容や使われている文法事項に気付かせる。 ・ガンディーの生涯を確認させる。 ・「私の大切なもの」と称した所有物の紹介をして, “This is a picture I took in America.”のような文を繰り返し聞かせる。 ・語の順番を理解させる。 ・基本表現の定着を図る。 【評】接触節を用いて, 互いに自分の好きなものを伝え合う活動を通して, 「知識・技能」を評価する。 ・視覚教材を用いて, 話の内容を理解しやすくさせる。 ・電子黒板やタブレット等を用いて, テンポよく行う。 ・何度も音読することで, 文の構造や内容を理解させる。 ・視覚教材を使って関係代名詞(who)を使った人物紹介を聞かせ, 説明していることや語順を理解させる。 ・whoの後の動詞の形を確認する。 ・基本表現の定着を図る。 ・具体例を紹介し, 書き方を確認する。 ・ペアで発表させることで, 相手の言ったことを理解させる。 【評】関係代名詞(who)を用いて作成した文を互いに伝え合う活動を通して「知識・技能」を評価する。 ・視覚教材を用いて, 話の内容を理解しやすくさせる。 ・電子黒板やタブレット等を用いて, テンポよく行う。 ・何度も音読することで, 文の構造や内容を理解させる。 ・Scene1とScene2で学習した内容を事前に復習した後に活動をさせる。 ・聞き取りのポイントを押さえて取り組ませる。 ・ペアで確認し合うことで, 生徒自らの気付きを大切にする。 ・クイズの例を紹介することでクイズの作成方法を確認する。 ・ペアで確認し合うことで, 生徒自らの気付きを大切にする。 ・ペアで出題し合うことで, 表現する力や相手

○ 振り返り活動を行う。

4 Read and Think1(1) 関係代名詞(主格のthat, which)について学習する。

★情報を加えて身の回りのものについて説明しよう。

○ 関係代名詞(主格のthat, which)の形・意味・用法を知る。

○ 基本表現の学習をする。

○ Practiceに取り組む。

○ 自分の身の回りのものについて、詳しい情報を加えた紹介文を作り、ペアで伝え合う。

5 Read and Think1(2) ガンディーの南アフリカでの行動についての伝記を読み、その内容を読み取る。

★当時の南アフリカの状況を知り、ガンディーがしたことを読み取ろう。

○ 本文の学習をする。

○ オーラルイントロダクションを行う。

○ 新出語句を確認する。

○ 音読練習をする。

○ Roundに取り組む。

6 Read and Think2(1) 関係代名詞(目的格のthat, which)について学習する。

★詳しい情報を加えてものや人について説明をしよう。

○ 関係代名詞(目的格のthat, which)の形・意味・用法を知る。

○ 基本表現の学習をする。

○ Practiceに取り組む。

○ ものや人について、詳しい情報を加えた紹介文を作り、ペアで伝え合う。

7 Read and Think2(2) ガンディーのインドでの行動についての伝記を読み、その内容を読み取る。

★当時のインドの状況を知り、ガンディーがしたことを読み取ろう。

○ 本文の学習をする。

○ オーラルイントロダクションを行う。

○ 新出語句を確認する。

○ 音読練習をする。

○ Round / Point of Viewに取り組む。

○ columnを読む。

8 Unit Activity 学習したことを生かして、尊敬したり憧れたりする人物について書く活動に取り組む。

★尊敬する人を伝えよう。

○ STEP1に取り組む。

○ STEP2に取り組む。

の言ったことを理解する力を高めさせる。

【評】相手に尋ねたり、相手からの質問に答えたりする活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。

・ワークシートへ記入させ、取組の振り返りをさせる。

【評】振り返り活動への取組を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

・DVDなどの具体物を紹介して、“This is a DVD which makes people happy.”のような文を繰り返し聞かせる。

・先行詞を確認してthat(which)を選ばせる。

・基本表現の定着を図る。

【評】関係代名詞(主格のthat, which)を用いて、身の回りのものについて伝え合う活動を通して、「知識・技能」を評価する。

・視覚教材を用いて、話の内容を理解しやすくさせる。

・電子黒板やタブレット等を用いて、テンポよく行う。

・何度も音読することで、文の構造や内容を理解させる。

・ペアで確認し合うことで、生徒自らの気付きを大切にする。

【評】本文や各Roundでの活動を通じて、「思考・判断・表現」を評価する。

【評】本文や各Roundでの活動を通じて、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

・指導者が好きな人を紹介して、“This is a baseball player that I like the best.”のような文を繰り返し聞かせる。

・先行詞を確認してthat(which)を選ばせる。

・基本表現の定着を図る。

【評】関係代名詞(目的格のthat, which)を用いて、身の回りのものについて伝え合う活動を通して、「知識・技能」を評価する。

・視覚教材を用いて、話の内容を理解しやすくさせる。

・電子黒板やタブレット等を用いて、テンポよく行う。

・何度も音読することで、文の構造や内容を理解させる。

・ペアで確認し合うことで、気付きを促す。

・ペアで伝え合うことで、表現する力や相手の言ったことを理解する力を高めさせる。

【評】本文や各Roundでの活動を通じて、「思考・判断・表現」を評価する。

【評】本文や各Roundでの活動を通じて、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

・ガンディーの教えを受け継いだ政治家や活動家を知る。

・例を確認することで、表をまとめるポイントを理解させる。

・書いた紹介文をペアで確認し合うことで、生徒自らの気付きを大切にする。

・発表のためにタブレットを使って、画像を見

<p>○全体発表をする。</p> <p>○振り返り活動を行う。</p> <p>9 Let's Write3 グラフや表の活用を学習する。 ★資料から読み取ったことをレポートにまとめよう。 ○STEP1に取り組む。</p> <p>○STEP2に取り組む。</p> <p>○STEP3に取り組む。</p> <p>○発表をする。</p> <p>○振り返り活動を行う。</p> <p>10 Grammar for Communication3 後置修飾を復習する。 ★後置修飾を復習しよう。 ○Use / Point of Viewに取り組む。 ○Formに取り組む。</p> <p>○Let's Try!に取り組む。</p> <p>11 単元のまとめ 単元テストに取り組む。 ★学習事項をまとめ、単元テストに取り組もう。 ○単元テストに取り組む。 ○Unitの目標を振り返り、できるようになったことや今後の学習の課題を設定する。</p>	<p>つけさせ、用意させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 発表や発表の後に英語でコメントや質疑応答をさせることで、表現する力や相手の言ったことを理解する力を高めさせる。 <p>【評】説明を書く活動及び発表の活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークシートへ記入させることで取組の振り返りをさせる。 <p>【評】発表活動や振り返り活動への取組を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> レポートの構成とグラフの読み取り方を確認する。 ペアで確認し合うことで、生徒自らの気付きを大切にする。 書き方の例を示すことで、資料を見るポイントやレポートの書き方を理解させる。 Tool Boxを確認して、さまざまな表現方法を知らせる。 ペアで確認し合うことで、生徒自らの気付きを大切にする。 発表や発表の後に英語でコメントをさせることで、表現する力や相手の言ったことを理解する力を高めさせる。 <p>【評】説明を書く活動及び発表の活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークシートへ記入させることで取組の振り返りをさせる。 <p>【評】発表活動や振り返り活動への取組を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 本単元で学習したことを確認させる。 本単元以外でも後置修飾があることに気付かせ、確認させる。 ペアで確認し合うことで、生徒自らの気付きを大切にする。 <p>【評】問題への取組を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>【評】単元テストを通して、接触節、関係代名詞(who, that, which)の用法についての「知識・技能」を評価する。</p> <p>【評】単元テストを通して、接触節、関係代名詞(who, that, which)を活用させ、「思考・判断・表現」を評価する。</p>
---	---

【 備 考 】

授業内で効果的にタブレットやQRコードを活用する場面を設定する。宿題や家庭学習等でそれらを効果的に活用するように促す。